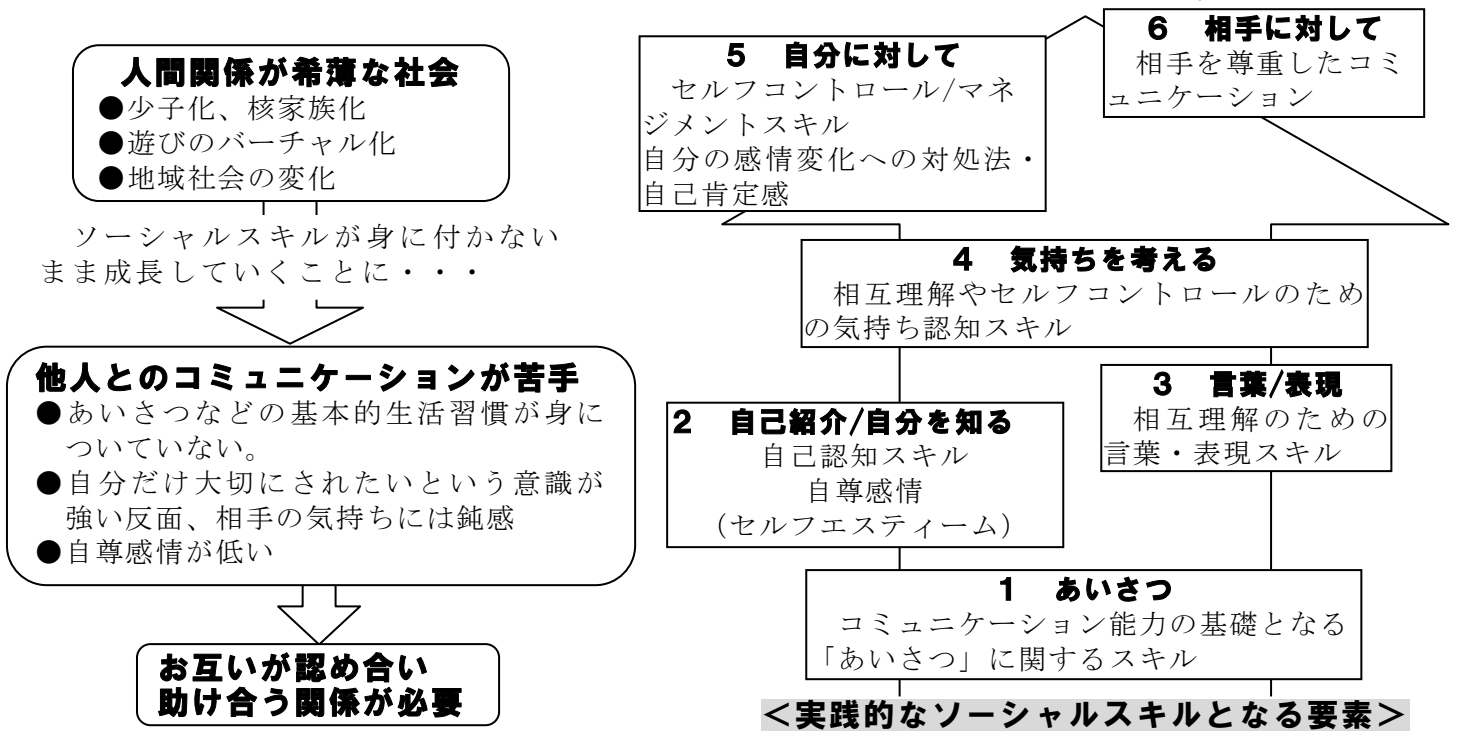


「人間関係力の育成」

特別支援教育コーディネーター 山下 裕美

私が、現代の子どもたちに必要だと考えている力、それは「人間関係力」。これまで、日々の暮らしの中で自然に身に付けられたソーシャルスキルが、社会環境の変化などにより、十分身につけることができない世の中になっているなど感じるようになりました。ソーシャルスキルとは、個人が日常生活の欲求や難しい問題に対し効果的に対処できる能力の中の対人関係やコミュニケーション能力のことです。



子ども、大人ともに、現代に必要なソーシャルスキルを上の方の右図で示してみました。親子でぜひこのスキルを確認し合ってみませんか？そして、まずは家庭の中であいさつから、「心新たに」実践してみてください。

(参考図書 日本標準 U-SST ソーシャルスキルワーク 監修 阿部利彦)

コラム…「話を聞いていない」と思えるとき

～聞いて理解するプロセス（聴覚認知）～

「何べん言ったら分かるの」「よく聞いていなさい」と注意することはありませんか？人の話をよく聞いていないように思えるとき、その背景には聞いて理解する（聴覚認知）ことの弱さが原因となることがあります。音を言葉としてとらえ、意味を理解するまでに①音が聞こえ②音の違いを聞き分け③言葉の意味を理解する④聞こえた音を文として記憶（短期記憶）し⑤文の構造を判断し⑥その文のもつニュアンス・気持ちを聞き取るということができてはじめて、聞いたことが理解できたということになります。プロセスのどこでつまづいているのかを見極め、そこに配慮しながら、支援していくことが大切です。



「きらり」がいっぱいの校外学習

～2年～

6月24日（金）、心配されていた天候にも恵まれ、魚津水族館へ行ってきました。

国語科「スイミー」の学習をしていたこともあり、子どもたちはいろいろな海の生き物に、大変興味を示していました。初めて目にした珍しい魚や、面白い習性のある生き物を見て驚いたり、ヒトデやヤドカリと楽しく触れ合ったりしました。



また、魚が輪くぐりなどをする「おさかなショー」を見て、小さな魚の見事な技に歓声を挙げて、喜んでいました。

昼食時には、友達に声をかけ合いながら楽しく過ごし、困っている友達を助ける姿も見られました。

友達と協力し合い、全員が楽しく校外学習を終えることができました。



初めての宿泊学習で学んだこと

～4年生～

先月の21日（火）、22日（水）の2日間、初めての宿泊学習を砺波青少年自然の家で行いました。「友達と協力し合って活動を成し遂げること」と「集団行動のマナーを身に付けること」を大きな目標に掲げて臨みました。

活動は、「追跡ハイキング」「スターウォッチング」「レザークラフト作り」「イニシアティブゲーム」の4つです。

どの活動でも声をかけ合ったり励まし合ったりする子どもたちの姿が見られ、ほほえましく感じました。

また、普段は恥ずかしがってなかなかできないあいさつも、2時間半余り歩いた追跡ハイキングでは、途中で何度も地元の方にできたことを、目を輝かせて報告していました。

宿泊学習で生活を共にし、少しずつですが、子どもたちが着実に成長していることを実感した2日間でした。



～お願い～

小さな子どもを狙った犯罪が後を絶たない昨今、学校では、不審な人に出会ったら、「大声を出す」「知らない人にはついて行かない」などの指導を行ってきました。そのほかに、登下校時や普段の外出時に防犯ブザーを携帯することも、安全を確保する有効な手段の一つです。

もうすぐ夏休みです。子どもたちが安心して過ごせるように、十分な対策をとり、子どもたちの元気いっばいな笑顔を見守っていきましょう。